

交雑種肉用牛の経済的肥育技術 (第1報)

古川智博・箴 雅生・*溝上 崇 (佐賀県畜産試験場・*佐賀県農林部)

Tomohiro FURUKAWA, Masaki OSA and Takasi MIZOKAMI : Fattening Method of Cross-Bred Steers (Japanese black×Holstein)

牛肉の自由化に伴い、輸入牛肉に対抗するため、安価で比較的良好の牛肉生産の手段としてF1の生産及び肥育が増加しつつある。しかし、F1の肥育技術において、その発育や肉質は交配種雄牛や個体による差が大きく、そのため、肥育期の飼養管理や出荷月齢についてはいくつかの問題がある。そこで、本試験では、F1去勢牛肥育の肥育期間、給与飼料等について若干の検討を行ったので、その概要を報告する。

1. 試験方法

供試牛として生後12日前後のF1雄子牛8頭を購入し、86日間カーブハッチ内で人工哺育した後、4頭ずつ2群に分け群飼とし、約8か月までを育成期、その後を肥育期として試験を行った。

濃厚飼料はA区は和牛肥育用、B区は乳用種去勢牛用として市販されている飼料を主体として、それぞれに一部単味飼料を配合し、肥育ステージに合わせ配合割合を変えて給与した。粗飼料については、哺育期にスーダン乾草を、育成期にヘイキューブを給与したが、肥育期はすべて稲ワラを給与した。なお、粗飼料は飽食とし、水は給水槽を用いて自由飲水とした。

増体については、2週間ごとに体重、体高及び胸囲の測定を行なった。飼料摂取量は、飼料給与を朝夕2回(8:00及び16:00)とし、2週間ごとに残飼量を測定してその差を摂取量とした。

生後20及び24か月齢時に各区2頭を出荷し、枝肉成績を調査した。なお、格付については日本食肉格付協会の枝肉格付表を用いた。

2. 試験結果

体重は試験開始時がA区94.3±15.9kg, B区102.9±16.0kg, 20か月終了時はA区632±63.09kg, B区679±111.18kg, 24か月終了時はそれぞれ729±26.87kg, 754±8.49kgと、B区が良好だった。

第1表 増体成績 (単位: kg)

	体重		
	開始時	20か月齢	24か月齢
A区	104.8±7.0	632±63.1	729±26.9
B区	105.5±13.3	679±111.2	754±8.5

体高は、試験開始時がA区85.7±1.8cm, B区87.4±2.8cm, 20か月終了時はA区138.1±3.4cm, B区138.0±3.9cm, 24か月終了時はそれぞれ146.0±1.8cm, 141.9±1.4cmであった。

胸囲は、試験開始時がA区101.0±2.2cm, B区101.1±

6.5cm, 20か月終了時はA区207.0±7.6cm, B区211.5±8.2cm, 24か月終了時はそれぞれ225.5±3.5cm, 224.8±0.3cmであった。

また、体重、体高及び胸囲とも日本飼養標準による黒毛和種発育値と乳用種発育値のほぼ中間の値で推移した。

DGは20か月終了時はA区0.97kg, B区1.05kg, 24か月終了時はそれぞれ0.94kg, 0.99kgであった。また、20か月齢以降、増体が低下する傾向にあった。

1日1頭当たりの飼料摂取量(TDN換算)は、A区3~20か月齢までの平均で4.8kg, 3~24か月齢までの平均で5.0kg, B区でそれぞれ4.9kg, 5.1kgと両区に差はみられなかった。

枝肉成績については、枝肉格付で20か月齢出荷はA区でB-3とA-3, B区でB-2とC-2, 24か月齢出荷はA区でB-3とB-3, B区でB-3とB-2であった。20・24か月齢ともにA区がB区に比べ良い成績を示し、また、肥育期間を延長することにより、わずかながら肉質が向上する傾向にあった。

3. 考察

F1去勢牛の肥育において、肉質の向上を図るには、黒毛和種肥育方式の適用の可能性が示唆された。しかしながら肥育期間については、経済性も考慮し、再検討の必要があると思われる。現在第2回試験(試験期間: 22・26か月, 主体となる飼料: 市販黒毛和種肥育用)を実施中である。

第2表 枝肉成績(1)

区	出荷月齢	枝肉重量	等級	ロース	バラ厚	皮下脂肪厚	歩留基準値
				芯面積	cm	cm	
A区	20	343.3	B-3	50.5	5.6	1.4	72.2
	24	401.3	A-3	cm ²	cm	cm	
B区	20	438.8	B-3	45.0	6.4	2.3	70.0
	24	442.1	B-3				
B区	20	438.8	B-2	34.0	5.7	1.5	70.6
	24	442.1	C-2				
B区	20	438.8	B-3	48.8	4.5	2.4	70.4
	24	442.1	B-2				

注) 等級以外は2頭の平均値

第3表 枝肉成績(2)

区	出荷月齢	BMS Na	脂肪交雑等級	肉色等級	きめしまり	BFS	脂肪
						Na	等級
A区	20	4	3	3.5	3	2	4
A区	24	4	3	4	3.5	3	5
B区	20	2.5	3	4.5	2	2	4
B区	24	3	2.5	5	2.5	3	5

注) 2頭の平均値